

発行

2024

11/30

公民館報

まつもと



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 70

松本城の守り神

二十六夜様をまつり

3石3斗3升3合3勺を炊いて祝う

大好きが見つかる！

市民活動フェスタ2024

市民活動団体と市民との交流が賑やかに実施

9月28日(土)、29日(日)、松本市市民活動サポートセンター(以下サポセン)主催の市民活動フェスタが昨年に続き、松本市立博物館1階を会場に開催されました。

本フェスタの目的は、①市民活動を多くの人々に知ってもらうこと、②参加団体間での交流を深めることです。今年参加の35団体では、それぞれの活動発表をしやすいように、講堂、会議室、交流スペース、ポケットパークに分かれて、発表・パネル展示・飲食・物販などが行われました。

入場者のアンケートや参加団体の感想などからは、「市民活動に興味を持ったたり、知ったりするきっかけになり、有意義であった」「スタッフ・参加者共に活気があってよかった」「参加団体同士の交流ができ、自分の活動にも励みになった」というように、おおむね好意的な受け止めが寄せられました。



アルプちゃんがお出迎え

「つながる交流の場をめぐって」

市民活動フェスタは、今年で17年目を数えます。途中、悪天候やコロナ禍により中止になった年もありますが、少しずつ参加団体を増やしながら継続してきました。

昨年フェスタを見に来た方が、市民活動の相談をサポートにしている、無事団体を立ち上げる事ができました。今年フェスタでは出展し、発表したり相談を受けたりして、活動を知ってもらえる良い機会になったと喜ばれていたそうです。

サポセンの清水口センター長は、今後のフェスタの方向性について、「市民活動に興

味を持つていただき、活動の輪が広がればうれしい。サポセンも一緒に頑張って、楽しいイベントを目指したい」と話しています。

これまでは、同日に行われる他のイベントの集客に合わせて実施する取組もありましたが、今年、SNSを通じての告知や参加団体の動画を事前に発表しました。当日のライブ配信も行いました。団体向けに動画作成や配信の支援も行ったそうです。

「これからは時代に合わせて、デジタルを活用した支援の充実を図っていききたい」とサポセンの林コーディネーターは話してくれました。



市民活動クイズ：あなたは何問正解できるか？



サポセン
YouTube
チャンネル

わがまち自慢 合併50周年 本郷地区

A4判フルカラーの記念誌発刊

昭和49(1974)年5月、本郷地区が松本市に合併し、今年5月1日50周年を迎えました。

7月に記念誌が発刊され、地区内全戸に配布されたとのこと、本郷地区を訪ねました。

まずは年表づくり

令和2年2月、町会長を中心とした編集委員20人と事務局7人により、記念誌作成に取り組み、松本市文書館小松特別専門員(当時)の助言を受け、年表作りから始めました。

橋本公民館長(当時)が市のあらゆる資料をもとに拾い出した延べ620項目を「総務、教育・民生、経済・地域、建設・環境」の編集委員四班編成で、それぞれ

各年の三大出来事に絞り込みました。

「スク」を出して

当時の新聞や館報、学校だより、アルバム、本郷村誌など手当たり次第探し、図書館、学校、報道機関にも出向くという地道な確認を繰り返しました。

分かりやすく、読みたくなるような写真探しに特に大変で、キャラクターによる紹介・コラムの形で、今はなくなってしまうチン電車や地域イベント内容を残すといった工夫を行いました。



本郷地区松本市合併
50年のあゆみ



見つけ出した昔の写真(上)と直近 Google Earth(下)の表紙

紹介・コラムの形で、今はなくなってしまうチン電車や地域イベント内容を残すといった工夫を行いました。



松本第一高校生制作のキャラクター

視点

⑱ 信州大学 ヤギ親衛隊

草刈りボランティア

草刈りボランティア

広い敷地の草刈りは、時間もかかれば労力も必要になる



草刈りを行うヤギ親衛隊のみなさん

大変な作業です。信州大学の公認サークルには、ユニークな方法で、また環境に優しく草刈りの問題を解決してくれる団体があります。それがヤギ親衛隊による草刈りボランティアです。

草取正雄(6歳)

浅間温泉と美ヶ原温泉の間地点、美しいお寺の奥に、そのヤギはいます。産まれてから6年、信大生によって大切に育てられてきました。8時半と午後3時には食事の用意と掃除などを隊員たちが当番で担当します。

隊長の双田帆乃花さん(人文学部3年)は「命を育てている」という責任も感じている。今後も活動を途絶えさせ

写真でつづる まつもと今昔⑥⑥

～上高地線電車も新旧交代に～



(撮影：1997.11.15)

赤と青のコントラストの松電カラーが美しい、東急5000形の電車。通称青ガエルは平成12(2000)年まで運行していた。



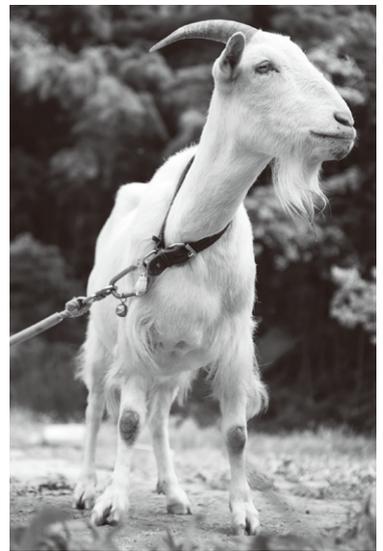
(撮影：2024.9.11)

アルピコカラーの東急3000形の電車には、カラフルな「剱東なぎさ」が描かれており、人々の目を楽しませている。この車両も11月には引退し、20100形の電車に移行する。

地域へ恩返しを

双田さんは「周りの方々の支えがあつて正雄くんは生きることができている。草刈りボランティアなどの形で地域

雄くんが快適な暮らしができるよう尽力しています。取材中も信頼関係のうかがえる正雄くんと隊長の交流に心温まりました。



ヤギ親衛隊 インスタグラム

動画はこちら!



の方たちに恩返しができたら」と話します。草刈りボランティアの条件・詳細は公式X(旧ツイッター)、インスタグラムまで。隊員たちが撮影する愛らしい正雄くんの姿も注目です。

おこひる

知人のお宅が、花泥棒の被害にあった。5年ほど連続で、珍しい種類のアジサイが咲くと数本切り取られてしまうという▼花

泥棒は罪にはならないという迷信があるようだが、実際は窃盗罪。しかも家人の留守を狙って庭に侵入し、被せていたネットを取り、ハサミで枝を切るとするのは、かなり計画的犯行だ。日々手入れをして開花を楽しみにしていた知人の気持ちを考えると、本当に犯人を許せないと思う▼花が咲く頃を狙って切っていくことから、近所の人の可能性もあると思いまでは通報していなかった。しかし今年も通報し、警察の実況見分もしたとのこと。足跡は消えてしまつており、犯人が捕まる可能性は低いかもしれないが、今後の抑止力になれば良いというところらしい。防犯カメラなどでの自己防衛も検討しているという▼山や公園でも、高山植物や珍しい植物の盗掘の話聞いたことがある。自宅以外で見かける花は、どんなに綺麗でも眺めるだけにしておきたいものだ。



再発見!! まつもと地名がたり 8
いにしへの里
里山辺地区

古来より東山部の要衝として栄えた山家の里。豊富な山林資源と中世小笠原氏の城下町で大いに栄えました。

里山辺は、奈良時代には入山辺も含めて、すでに山家「やまんべ」と呼ばれていました。そして、慶長19（1614）年の検地帳に里山家村の記載が登場します。

湯ノ原・御母家温泉

温泉の歴史は古く、湯ノ原は日本書紀に記述される「東間の温湯」や、三十六歌仙の源重之の和歌に由来した「白糸の湯」ともいわれます。

また、諸説ある「おぼけ」の表記は、王家、諸桶、芋桶、王母家などありましたが、昭和3年に御母家とされました。



★旧山辺学校校舎（兔川寺向かい）

とせんじ 兔川寺町会

町会名の由来である兔川霊瑞寺は、寺伝によれば飛鳥時代に聖徳太子の創建と伝えられます。その昔は24の宿坊があつたとする説があります。



美ヶ原温泉旅館協同組合発行『山辺の里 美ヶ原温泉』より

明治に入り廃仏毀釈で廃寺となりましたが、跡地は地元の人びとにより兔川学校として活用され、寺再興の後には隣地に擬洋風建築の山辺学校が建てられました。



林大城・林小城遠景

おおづき 林城跡と大嵩崎

平安時代に国府が置かれたとも推定される松本は、政治の中心として多くの山城が築かれました。中でも林城周辺は小笠原氏の居城として信濃の政治の中心でもありました。大嵩崎は、林城跡を構成する大城と小城に挟まれた地域です。現在でも「大月」を挟んで「小屋上」「小屋下」という地名が残り、居館の気配が伺えます。大嵩崎からひもとく歴史ロマンを味わいに、散策などが良いでしょう。

松本平の野鳥たち

チョウゲンボウ（2016年11月松本市島内 写真提供:信州野鳥の会）
ハトと同じ大きさのハヤブサの仲間。
かつては崖地の洞穴で繁殖していたが、近年は市街地のビルや橋桁などの人工物を繁殖場所として利用している。
小鳥やネズミ、昆虫を主食にし、樹木がない場所では頻りにホバリングし、急降下して捕らえる。

まつもと散歩

豊かな彩りの日に
あなたが優しく笑う
くもり、のち晴れ

(撮影：2024.10.26 松本城公園)